

(公社)全日本病院協会 外国人材受入事業会議
ミャンマーにおけるプロモーションの実施結果について

2022年9月25日、26日、当会事業会議の担当役員等が現地へ赴き、ミャンマーヤンゴン所在の人材送出機関 J-SAT と介護技能実習生募集プロモーションを行いました。

記

1. ミャンマーの現状について

約3年振りの訪緬、日本からミャンマーへの直行便も無くなり、バンコク乗り継ぎでタイのLCC航空機に搭乗、ヤンゴン空港では入国するための手続きが煩雑であり、最後PCR検査を行い陰性確認後に空港から出ることが出来た。ヤンゴン市内に向かう途中にはバリケードがあり、雨季のためスコールも激しく混沌とした中、ホテルに無事チェックインした。コロナ禍前には営業していたホテル、レストランの閉店数も多く、クーデターと相まってミャンマー経済の不透明さが感じ取れた。

ミャンマー到着日、J-SAT関係者と情報交換を行い、大学を卒業しても国内で就職先が無いことから海外で働く意思を持つ者や、国が大学運営を担っているため、今通っている大学を辞めてまでも海外で働く意思を持つ者等が増え、今後は大学入学レベルが下がり、入学者の質が問われることになる。このことを踏まえて人材を採用(J-SATの入学試験の合格基準)していく必要がある。

2. 9月25日 J-SAT とのプロモーション結果について

J-SAT 本社ホールにおいて山本担当役員による外国人技能実習生・介護分野における全日本病院協会の取組みについて説明、大田構成員、細川構成員によるミャンマー人介護技能実習生受入れ病院としての取組み紹介。参加者数は、現地の会場参加と自宅からのWEB参加の約100名。参加者からは、直接日本人の方と会い説明があったことで分かり易かった、仕事のイメージが湧いた等の声が聞かれた。

3. まとめ

現地関係者との情報交換の結果、当会の人材育成コースである松、竹、梅のうち、ミャンマーは竹コースであったが、このコースの見直しを図るべく、当事業会議で再検討することとした。また J-SAT の候補者が決まり次第、一次面接、二次面接を行い当会の会員へご紹介していきたい。

(次項へ)

4. 参考







以上